

歌え、響け、
歓喜の歌



an die freude

第4回鹿嶋市第九交響曲コンサート



ソプラノ
金持亜実



アルト
梁取 里



テノール
田口昌範



バリトン
竹内利樹

曲 目

ベートーヴェン 作曲
L.v.Beethoven

♪ エグモント序曲 作品84
Egmont Overture op.84

♪ 交響曲第9番 二短調 作品125「合唱付」
Symphonie Nr.9 d-moll op.125

合唱・管弦楽 / KASHIMA第九の会
指揮・音楽総監督 / 錦織俊雄
音楽総合アドバイザー / 神宮 章
合唱指導 / 田口昌範・金持亜実・梁取 里

2018年

12/9 (日)

鹿嶋勤労文化会館ホール

14時開演 (13時00分開場)

ウエルカムコンサート 13時10分

全席指定 (前売) 一般 2,000円
(前売) 高校生以下 500円
(当日は各500円増)
※未就学児の入場不可

9/29 (土) 9時からチケット発売

※電話でのご予約は同日13時から

〈プレイガイド〉

鹿嶋勤労文化会館 0299-83-5911

■主 催 鹿嶋勤労文化会館
公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団
■後 援 鹿嶋市 鹿嶋市教育委員会
■問合せ 鹿嶋勤労文化会館 ☎0299-83-5911

～ プロフィール ～



指揮・音楽総監督 錦織 俊雄 (にしきおり としお)

鹿嶋市出身。国立音楽大学音楽学部器楽科(オーボエ専攻)卒業。オーボエを梅原美男、青山治一、丸山盛三の各氏に師事。在学中より各地のプロオーケストラで演奏活動を行う。卒業後は茨城県公立学校教諭となり、吹奏楽の指導や市民バンドの指導を行う傍ら、カシマフィルハーモニーの創設に関わり、団長兼音楽監督となる。また、茨城県教育研究会音楽教育研究部の中心となり児童生徒の音楽教育を推進してきた。平成22・23年度には東日本小学校音楽器教育研究会会長を務めた。平成26年には潮来市の中学3年生273名の合唱団による第九交響曲の全楽章演奏を企画し、指揮する。茨城県小中学校校長会副会長・茨城県教育研究会副会長・潮来市校長会会長・潮来第一中学校長を経て現在は茨城県教育庁総務企画部芸術文化担当主査として、茨城県内小・中学校・高等学校への芸術家派遣に当たっている。



ソプラノ 金持 亜実 (かなじ あみ)

神奈川出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程、及び博士後期課程修了。博士号(音楽)を取得。現在、同大学声楽科教育研究助手、慶応女子高等学校講師を務めながら、若手ソプラノ歌手として活躍している。在学中は、藝大フィルハーモニア合唱定期演奏会、東京藝術大学音楽学部附属音楽高校定期演奏会にソリストとして出演。また、奏楽堂モーニングコンサートに選抜され、藝大フィルハーモニアと共演。その他、J.S.バッハ『マタイ受難曲』、ヘンデル『メサイア』、ハイドン『天地創造』、モーツァルト『レクイエム』、ベートーヴェン『第九』等、宗教曲等のソリストとして数々のオーケストラと共演している。ドイツ歌曲や、アカペラを含む声楽アンサンブルの演奏も積極的に行っており、第24回友愛ドイツ歌曲コンクール入選。これまでに声楽を、辻育子、三林輝夫、佐々木典子、平松英子の各氏に師事。



アルト 梁取 里 (やなとり さと)

福島県出身。都留文科大学文学部初等教育学科卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、同大学院音楽研究科修士課程を修了、および博士後期課程修了と同時に博士号(音楽)を取得。これまでに、各地でのベートーヴェン《交響曲第九番》、また藝大プロジェクト・ハイドンシリーズにおいてG・ボッセ指揮《ハーモニー・ミサ変ロ長調》のアルトソロを務める。2010年藝大モーニングコンサートに出演、高関健指揮、R.ワーグナー《ヴェーゼンドルクによる5つの詩》を演奏。2013年国際ロータリー財団第2530地区奨学生としてウィーン音楽院リート・オトリオ科に在籍。2014年ドイツへ移り、その後シュトゥットガルト音楽演劇大学にてドイツ歌曲を中心に研鑽を積む。これまでに声楽を割谷由美子、清水雅彦、多田羅迪夫、寺谷千枝子、永井和子、A・ハース、斉藤雅昭(コレペティトゥア)、B・ショルム、A・ライバンスピース、ドイツ歌曲をC・ヴィトハフトの各氏に師事。



テノール 田口 昌範 (たぐち まさのり)

秋田市出身。東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。東京芸術大学大学院修士課程独唱科修了。これまでに、バッハ作曲『ヨハネ受難曲』、ヘンデル作曲『メサイア』、モーツァルト作曲『ハ短調ミサ(大ミサ)』『戴冠ミサ』『レクイエム』、ハイドン作曲『天地創造』、ベートーベン作曲『ミサソレムニス』『第九』、ドヴォルジャーク作曲『スターバトマーテル』、メンデルスゾーン作曲『賛歌』『エリア』、などのソリストを務める。オペラではドニゼッティ作曲 歌劇『愛の妙薬』ネモリーノ役、ブッチーニ作曲 歌劇『蝶々夫人』ピンカートン役、他にも様々なオペラに出演している。大学院在学中、1年に1度行われる合唱定期演奏会において3年連続でソリストを務めた。2014年秋田県国民文化祭、開会式において皇太子殿下の御前にて国歌独唱を務め、プロローグにてオーケストラと『浜辺の歌』を演奏した。これまでに、長谷川留美子、田代誠、吉田浩之、小原啓楼の各氏に師事。



バリトン 竹内 利樹 (たけうち としき)

浜松市出身。東京藝術大学、同大学院音楽研究科修士課程オペラ専攻修了。第8回大阪国際音楽コンクール第1位。第61回全日本学生音楽コンクール東京大会第2位。全国大会第3位。第59回芸大オペラ定期チマローザ作曲『秘密の結婚』よりロビンソン伯爵で出演。また第5回静岡県民オペラ『イリス』ではキョート役のアンダーキャストをつとめる。第18回静岡の名手たちオーディション合格。第64回芸大メサイア(朝日新聞社主催)をはじめ、第九、バッハ・カンタータ、などのバス・ソロをつとめる。第4回浜松交響楽団ソリスト・オーディションにて浜信賞を受賞。2017年より1年間ミラノへ留学。ブレラ地区にて、オペラ『エンマとブルー・バク』(世界初演)ではブルー・バク役をつとめる。藤原歌劇団員。



音楽総合アドバイザー 神宮 章 (じんぐう あきら)

国立音楽大学器楽科卒業。オーボエを丸山盛三氏に師事、指揮法を桐山彰氏に師事。1979年ラパス市立劇場管弦楽団を指揮してデビューし、直ちに同管弦楽団常任指揮者に就任。続いてポリビア国立交響楽団の常任指揮者に就任し、その総ての公演が国立放送局の番組『El Concierto de Akira Jingui』で放送された。翌年1980年ラパス市名誉市民章を贈られる。帰国後も精力的に活動を続け、カールマン作曲『マリツァ伯爵夫人』の日本初演ほか、数多くのオペラ、管弦楽曲、合唱曲を指揮し好評を博す。特に古典派、ロマン派の曲目を得意とする。2002年にはハンガリー国立歌劇場において、同管弦楽団を指揮し絶賛を浴びる。日本においては、新星日本交響楽団(現東京フィルハーモニー管弦楽団)東京シティフィルハーモニー交響楽団など多くのオーケストラを指揮し、またオペラの指揮にも活発な活動を行なっている。近年は合唱においてもその手腕を発揮し「アンサンブル」合唱団を創立、ベルカントの発声法にも精通しており、多くの声楽家から支持されて音楽監督に就任した。ハンガリーのブタペスト国立歌劇場やイタリア、ローマ、ミラノでのコンサートも指揮し、その活動は幅を広げている。

Access

- 高速バス (10分～20分間隔で運行)
 - 東京駅 — 特急かしま号高速バス — 鹿島神宮駅
 - 東関東自動車道
- 自動車
 - 東京 — 京葉道路 — 宮野木 J.C.T. — 東関東自動車道
 - 海岸道路
 - 潮来 I.C. 国道 51 号 鹿嶋
 - 群馬・栃木 — 北関東自動車道 — 水戸大洗 I.C. 国道 51 号 鹿嶋
- 鉄道
 - 東京駅 — 総武線經由鹿島線 — 鹿島神宮駅
 - 水戸駅 — 大洗鹿島線 — 鹿島神宮駅

会場案内

